

## 6 終わりに

本報告書は、営団日比谷線中目黒駅構内において発生した列車脱線衝突事故について、その重大性に鑑み、同種事故の再発防止を目指す観点から、脱線要因等の調査検討を進め、安全対策のとりまとめを行ったものである。

この調査検討では、今回の乗り上がり脱線の発生に影響を与えた諸因子の解明等を行うとともに、脱線に対する余裕度の推定手法について詳細な検討を行い、そこで得られた知見をもとに安全対策の検討を進め、提言としてまとめた。ここで提言した安全対策が講じられれば、今回のような脱線に対しては、一定水準の安全性が確保できるものと考えている。

一方、日本全国には様々な車両、軌道が存在しているが、本事故調査検討会は特定の事故に焦点をあてているものであるため、必ずしもすべての条件について検討が網羅されているとはいえない。また、本報告書で述べたとおり、急曲線・低速域での脱線に関しては、引き続き取り組むべき研究課題も多く、ここで提言した安全対策についてもフォローアップが必要であると考えられる。

このようなことから、今回の調査検討の結果を基礎として、これを引き継ぎ、深度化させるための取り組みが、今後も継続して進められることが重要であると考え。多くの犠牲を伴ったこの事故を風化させず、教訓として将来の安全性の向上に活かしていくためにも、このような継続的な取り組みが行われることを強く求めるものである。